



フェスティバル体育の部を終えて

10月20日（金）、天候に不安を抱く中、フェスティバル体育の部を実施しました。子どもたちの気持ちが届いたのか、一週間前の雨予報が嘘のような晴天の中、始めることができました。30分前倒しでの開始にもかかわらず、多くの保護者のみなさまにもご参加いただき、ありがとうございました。大きな事故もなく、無事終わったことうれしく思います。フェス文化・体育を乗り越えた子どもたちのさらなる成長に期待し、今後も教育活動を進めていきますので、ご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

当日、時間調整のために割愛させていただきました教頭からの講評を紹介させていただきます。

去る10月20日（金）、フェスティバル体育の部を無事終えることができました。当日は午後から雨天になることが予想されていたことから、開始時間等早める対応をしていたこともあり、午前から昼食までの間で子どもたちに係る全てのプログラムを終了することができ、大変喜ばしかったです。どの個人・リレー、ブロック競技、学年種目、応援等も白熱して皆の熱い思いが頑張る姿に表れていました。また、係・委員会・生徒会、クラブの人たちも活躍している姿に感心しました。様々な場面で感動することがありましたが、特に3年生学年種目で起きた一場面が印象的でした。2クラスがゴールしている中、1クラスがムカデ競争で1歩前へ進むことができずにいた時のことでした。放送の係が「1・2、1・2と」声援を送っていると、どの学年やクラスからも同様に声援を送るようになり、気が付けば全体が1つになってそのクラスを応援していたのです。「これが大中生らしさか」と、感動するとともに、この優しい心、団結する気持ちがあれば、「共に学び支えあい、たくましく生きる生徒」へと成長していきたくと期待することができました。

このように行事を通して、子どもたちは一段と成長してくれております。その成長の陰には、最も関わり支えていただいている保護者の皆様のご尽力あってのことと感謝しております。引き続きご支援賜りますよう、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

当日の様子を少し写真で紹介させていただきます。たくさんのご参観ありがとうございました。

